

戸建住宅に  
お住まいの方  
必見!

# 戸建住宅の

今なら  
補助金\*  
あります

\*先進的窓リノベ  
事業など

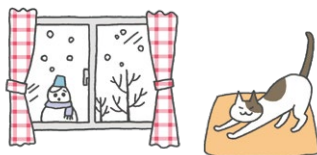
# 窓断熱リフォームの メリット!

光熱費削減以外にこんなメリットが!!

窓断熱リフォームすることで

**省エネ性能・  
快適度がアップ!**

家族の**健康対策**に



ヒートショックや熱中症対策に!  
ペットや子供にも優しい環境!

**結露対策**もできる

結露が激減するので、カビ・ダニの発生  
を防ぐ効果も!部屋を綺麗に保てます。



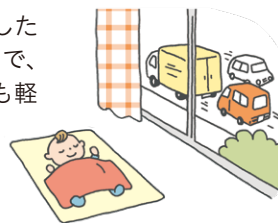
**快適な室温**を保つ

夏・冬ともに窓  
際でも快適にす  
ごせるので、カー  
テンいらずで明  
るいお部屋!



**防音性**の向上

防音に配慮した  
窓にすることで、  
騒音の悩みも軽  
減できます。



入居者に聞きました!

**内窓設置で冬場の電気代3分の1削減!**

北海道在住・Aさん

9年前、北海道にオール電化の住宅を建てましたが、冬場の暖房コストが  
さんだことから、内窓の設置を決意しました。ももとの窓も樹脂サッシと  
複層ガラスを備えた断熱性能の高い窓でしたが、内窓設置後は防音効果が得ら  
れるとともに、暖冷房の効きが良くなり、冬場には電気代が前年比3分の1削減  
となった月もあり、嬉しく思っています。



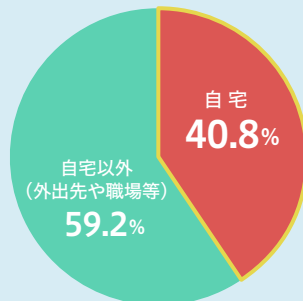
MINI COLUMN 慶應義塾大学名誉教授 伊香賀 俊治先生

熱中症の予防には断熱リフォームが有効

熱中症による救急搬送人数は、2010年頃には年間4万人から6万人程度でしたが、2018年に気象観測開始以来の猛暑が来たときに、一気に9万5,000人まで増えました。実は、熱中症の救急搬送人数の4割が住宅内で発生しています。また、搬送者のほ

とんどが高齢者です。これを防ぐためにも、断熱が重要な役割を果たします。

住まいの断熱性能が良いと、夏の高温が室内側に入るのを抑えることにより、冷房が効きやすくなるので、断熱改修は熱中症の予防にも効果的なのです。



熱中症救急搬送人数の  
4割は自宅内

2023年速報: 91,255人  
(高齢者: 54.9%)  
(住宅内: 40.0%)

総務省消防庁  
2023年5/1~10/1速報値

光熱費を大幅に削減。  
改修前の半分以上に！

戸建住宅にお住まいの岩田さん(左)  
リフォーム事業者(工務店)の菊澤さん(右)

**築** 50年の一軒家で暮らしていましたが、寒い家だったこともあり、定年退職を機にフルリノベーションを決意しました。工務店に相談すると、住宅の高断熱化には窓まわりが特に重要とのことで、「先進的窓リノベ事業」を活用し、はつり工法による断熱改修を行いました。

以前は結露や隙間風に悩んでいましたが、改修後はそれらがなくなるとともに、屋外の音も気にならなくなりました。また、厳冬期でも暖房無しで過ごせるなど、断熱効果を実感しています。改修前には月8万円ほどだった光熱費が、改修後には最大でも3万5千円ほどになるなど、光熱費を大幅に削減できたことが何より嬉しいです。



外窓交換(はつり工法)を実施

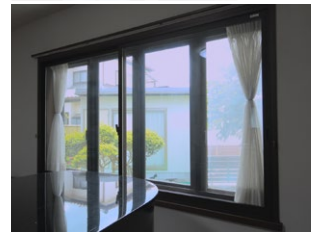
断熱改修でより快適に。  
窓の見栄えも良くなりました！

戸建住宅にお住まいの門田さん(左)  
リフォーム事業者の浦坂さん(右)

**昨** 年、「先進的窓リノベ事業」を活用し、2部  
屋の窓の断熱リフォームを行いました。

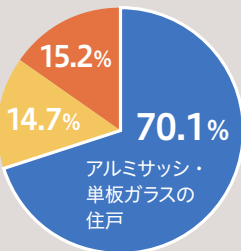
改修前は、日差しがピアノに直射することを避けるため、カーテンを閉めがちになり部屋が暗くなっていたほか、部屋の寒暖差にも悩まされていました。また、北側の部屋は、冬は寒く夏は暑いため、ほぼ物置状態になっていました。

改修後は部屋の寒暖差がなくなっただけでなく、西日が和らぎ、カーテンを閉める必要がなくなりました。北側の部屋も快適になり、今では寝室として利用しています。エアコンの使用量が激減し、冬場の光熱費は1年前より1万円以上下がり、とても驚いています。



内窓設置を実施

窓断熱リフォームは、光熱費の削減につながります！



日本の住宅の約7割は  
窓断熱がない住戸!!

- 一部の窓が二重サッシまたは複層ガラス
- 全部の窓が二重サッシまたは複層ガラス

窓断熱リフォームを実施すると、  
光熱費の削減が期待できます！

約2万円/年

窓断熱リフォームを行った  
事例動画もぜひご覧ください。

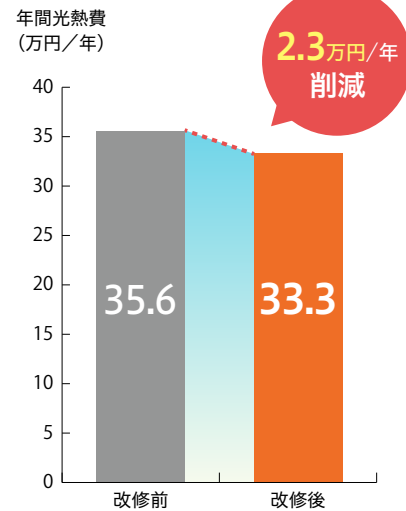


環境省 youtube チャンネル  
「先進的窓リノベ 2024  
事業活用セミナー」  
特集動画④(戸建住宅編)

【試算条件】

- ・延床面積120㎡の2階建木造住宅、地域区分6(主に関東~九州等)・昭和55年基準の戸建住宅において、グレードSの窓(熱貫流率Uw=1.5)への窓断熱リフォームを実施した際の光熱費削減効果について、WEBプログラム(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム)により試算したものです(電気代は東京電力及び東京ガスの2023年3月時点の料金表を用いて計算)
- ・上記は、延床面積や地域区分、電力会社の契約内容や料金の変更等により変動しますので、目安としてご活用ください。
- ・試算の詳細及び他の条件による試算結果などは、先進的窓リノベ運営支援室のウェブサイトからご確認ください。(http://madorinobe2025-info.jp)

S55基準\*の戸建住宅における削減効果

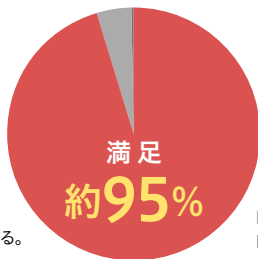


※昭和55年当時の省エネ基準で建築された住宅

手軽に実施可能&満足度も非常に高い  
窓断熱リフォーム！

窓の断熱リフォームを実施した消費者の  
約95%が、『満足\*』と答えています。

※先進的窓リノベ2024事業を活用した消費者向けの調査(環境省実施)の結果による。



冬の窓辺も快適になった／西陽がやわらいだ／空調の効きが良くなった／防音効果が高まり静かになった／電気代が下がった・・・など、**快適性向上・省エネ効果**を実感する声が多く寄せられました。

環境省の窓断熱リフォームへの補助制度は  
「先進的窓リノベ2025  
事業事務局サイト」

https://window-renovation2025.env.go.jp/



※地方公共団体の補助制度に関しては、  
一般社団法人  
住宅リフォーム推進協議会の  
検索ページを参考にしてください。

https://www.j-reform.com/reform-support/



※環境省では、窓の断熱改修を含め、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を進めています。詳しくはこちら。

